

杵築市議会議長
富来 征一

議会と市民の距離を縮め、より良い杵築市を

市民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、日ごろから市議会に対するあたたかいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年5月に杵築市議会議長に就任させていただき、市民に開かれました議会の運営を目指し、職務を遂行してまいりました。お陰をもちまして昨年は着実に「開かれた議会」となるように基盤を固めることができたと確信しております。

昨年10月末に開催した市民との意見交換会では、一昨年と同様に多くの市民のご参加のもと、市政や議会に対する様々なご意見やご要望をいただきました。その後、議員全員で協議を行い、市議会から永松新市長へ来年度予算など市に対する政策を取りまとめ、提言を行いました。また、私からも緊急の課題であります農林水産業の振興、福祉保健行政の推進、子どもの学力・体力の向上についてお願いいたしました。



また、昨年11月に議会改革案の一つとして市議会の最高規範となる「杵築市議会基本条例(素案)」をまとめました。「議員の活動が見えない」「市民の声が本当に届いていない」など、議員の活動が見えていないのか」というご指摘を過去のものにして、議会と市民の距離を縮め、より良い杵築市を市民の皆さんと一緒に創っていくための一歩といたします。

現在の市議会議員19名の任期も残すところ1年3ヶ月となりました。現在の社会や経済の情勢は目まぐるしく変化しています。それに伴い、本市においても克服すべき多くの課題を抱えており、行政に対する需要は量や質ともにますます複雑多様化するなど、誠に厳しいものがあります。

私ども市が提案する予算などの議案をチエックする機関といつておられます。どうか本年も市議会に対しまして相変わらぬご支援並びにご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げまして新年のあいさついたします。

杵築市長
永松 悟

合併から100か月、心も新たに

このような厳しい社会情勢の一年であります。5月には国東半島・宇佐地域のクヌギ林とため池を利用した農林水産循環のシステムが世界農業遺産に指定され、杵築市を含む6市町村が世界的に注目を集めた明るい話題もありました。

他にも、昨年の杵築市の話題をピックアップしますと、大分県下初の「教育立市」の宣言、山香こと

が輝かしい一年となりますよう祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。

結びに、皆様にとりまして本年が輝かしい一年となりますよう祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。



も園の新設、皇太子殿下の行啓視察、杵築市を含む別府湾岸・国東半島海への道の「日本風景街道」への登録などがありました。そして10月には、八坂前市長から私へと市政の舵取りのたすきが渡されました。

さて、新年を迎えるとともに、杵築市では合併からちょうど100か月目を迎えました。今年の干支は午、ひとつの節目を迎えた杵築

市をさらに勢いづけ、駿馬の様にしなやかに力強く前進する年にしたいと思っております。

まちづくりにおきましては、総合計画や第2次行政改革大綱・行政改革後期アクションプランに基づき「歴史と文化の薫り高き豊かな感性があふれるまち」を将来像に住民福祉の向上と均衡ある地域の発展を目指します。

さらに、誰もが住み慣れた地域で安心して生活できる、「健康で活躍する安心の杵築市」の実現に努力してまいります。

今後とも、皆様には市政発展のため、これまで以上のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。